

# 検討施策①：森林保全を通じたゼロカーボン実現

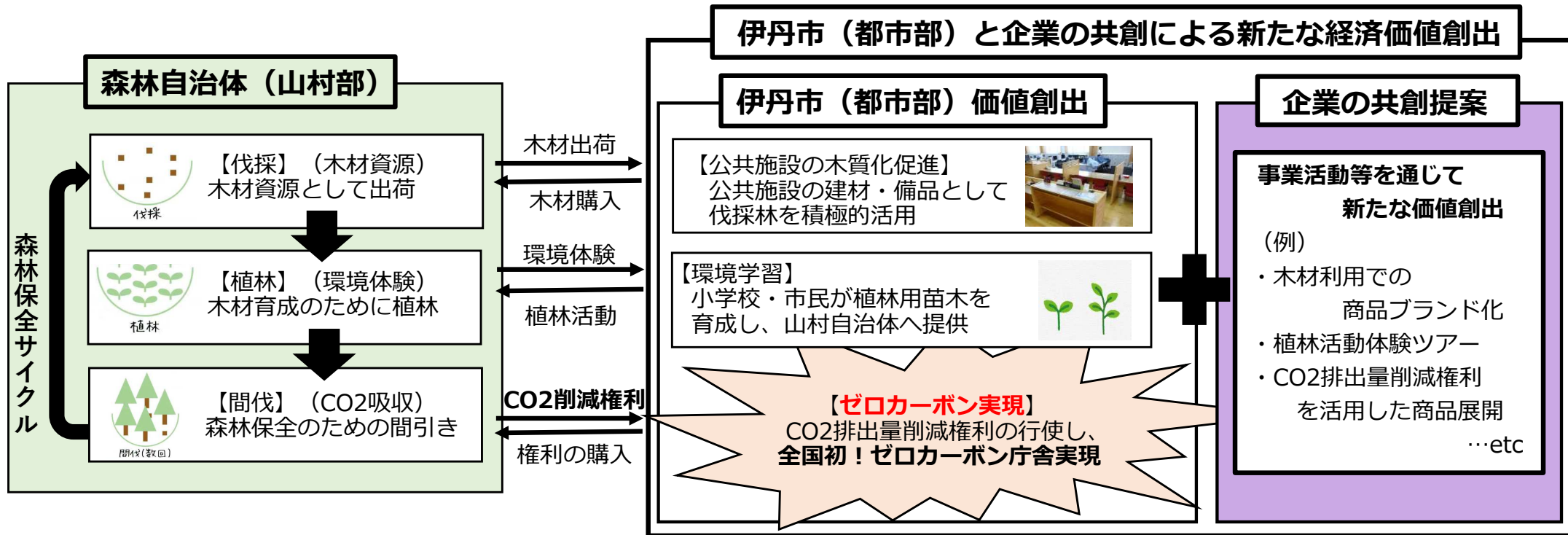
## 従来の社会経済モデル 森林自治体単独で行う森林整備

課題：農林業縮小の流れもあり、森林整備を森林自治体単独が行うことが経済的限界を迎えている。

解決：森林には、「木材資源」「環境体験」「CO2吸収」などの様々な価値が存在する。

今後、**森林資源が経済ブランド・地球温暖化防止対策として新たな価値を創出**することが必要。

## 新たな社会経済モデル 都市自治体・企業も共創した森林保全及び新たな価値創出



伊丹市は、「**全国初！ゼロカーボン庁舎実現**」により地球温暖化対策の新たな森林価値を創出します。

**企業様からも、伊丹市と共に広く共創できる分野の提案**を頂戴できればと思います。

## 検討施策②：市民と共創する都市部の新たな環境価値創造

### 従来の社会経済モデル 人口集中してる都市部は、資源を消費して大量のCO2排出を行う

課題：都市自治体は、人口集中により資源を消費するだけで環境価値を創出する土壌がない。

解決：人口集中してる都市自治体だからこそ、「大幅なCO2排出量削減の余地」が存在する。

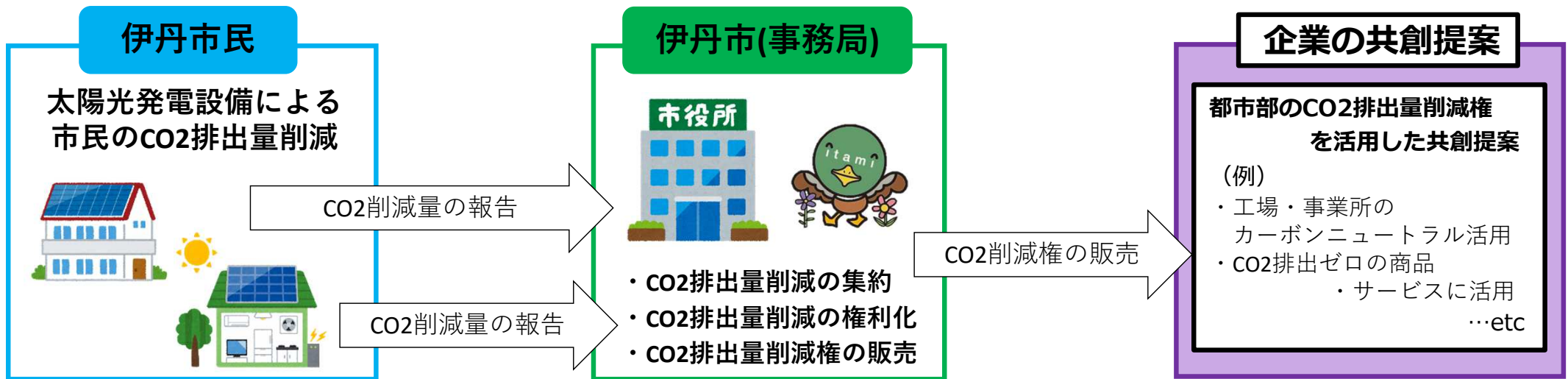
省エネ設備等の導入による**大幅なCO2排出量削減を都市部の新たな環境価値として創出**する。

### 新たな社会経済モデル 都市部のCO2排出量削減を新たな環境価値として創出

#### 【取組概要】太陽光発電導入によるCO2排出量削減を権利化

太陽光発電導入によるCO2排出量削減は権利化することが可能。

市民が行ったCO2排出量削減を伊丹市で集約することで環境価値として権利化し、企業等へ売却する。



伊丹市は、市民が取り組んだCO2排出量削減を権利化することで**都市部の新たな環境価値を創出**します。

**企業様からはCO2排出量削減権の購入・活用などで伊丹市と共に共創できる分野の提案**をいただきたいと思います。